ジェーン台風とジューン台風

9 月は台風シーズンです。昭和 20 年代に徳島県に被害をもたらしたジェーン台風とジューン台風は、名前が似ているため間違えられることがあり、注意が必要です。昭和 25 年に那賀川流域を襲ったジェーン台風と、昭和 29 年に吉野川流域に被害を与えたジューン台風についてお伝えします。

■昭和 25 年のジェーン台風（徳島県那賀川流域）

昭和 25 年（1950）9 月 3 日午前 10 時、台風 28 号（ジェーン台風）は日和佐付近に上陸した後、紀伊水道を経て神戸付近に再上陸し近畿地方を横切り、若狭湾へ抜けました。那賀川流域では 3 日午前 7 時頃より風雨が強くなり、古庄ではピーク流量が 9,023 ㎥／s と当時の計画高水流量を越える未曾有の大出水となり、流量の改定の契機となりました。被害は、阿南市加茂谷地区（殊に吉井地区）で人家の倒壊・流失 22 戸、農地壊滅 410 町歩、鷲敷町（現那賀町）でも人家の倒壊・流失 20 戸、浸水 129 戸、負傷者 42 人などとなりました。また、阿南市桑野地区（殊に山口地区）でも桑野川の氾濫により人家の倒壊・流失 16 戸、家財流失 60 戸、田畑の被害 480 町歩、道路堤防の損壊 31 箇所に及びました。＜建設省四国地方建設局徳島工事事務所編「那賀川改修史」1981 年、同「徳島工事五十年史」1997 年など＞

古毛の万代堤（那賀川左岸）

（地理院地図に加筆）

■昭和 29 年のジューン台風（徳島県吉野川流域）

昭和 29 年（1954）9 月 13 日、台風 12 号（ジューン台風）が九州の南方に近づきました。この台風は進行が遅く暴風雨時間が長かったこと、転向することなくシベリアに北上したことなどが特徴でした。吉野川流域では山間部に短時間で大雨が降り、空前の大洪水となりました。池田町(現三好市)板野の水位は 14 日 1 時に 15.8m（警戒水位 9.0m）を記録し、ピーク流量は池田で 12,620 ㎥／s、岩津で 14,900 ㎥／s を記録しました。吉野川は三好・美馬・麻植の各郡で堤防が決壊し、被害は死者 9 人、負傷者 8 人、家屋の全壊 131 戸、流失 55 戸、床上浸水 2,059 戸、床下浸水 6,886 戸などに及びました。この洪水は吉野川の治水計画再検討の契機となりました。＜建設省四国地方建設局徳島工事事務所編「吉野川百年史」1993 年、徳島県史編さん委員会編「徳島県災異誌」1962 年など＞

第十堰

第十堰付近の昭和 29 年洪水痕跡水位板

（地理院地図に加筆）